

「天神」で学ぶ小学生と、タオの黒沢
慶昭社長＝9日、大津市長等2丁目



った最初の授業があり、草津市の小学4年、久保幸太郎さん(10)は「パソコン触るの好きやから楽しい」と夢中になっていた。タオの黒沢慶昭社長は「たくさんの子どもたちに主体的に勉強に取り組んでもらえればうれしいです」と話した。

(茶井祐輝)

PCで学べる無料塾 2階で

大津「野洲のおっさんおにぎり食堂」

大津市のナカマチ商店街にある「野洲のおっさんおにぎり食堂」(同市長等2丁目)。その2階では毎週木曜午後4時半～6時、食堂の収益で無料の子ども塾が開かれている。11月から、全国の学習塾などで導入されているパソコン学習教材「天神」を使えるようになった。

天神は草津市のソフト開発会社タオの商品。幼児、小、中学生向けなどがある。タオによると、全国1300以上の塾や学校で採用されている。

学校で使っている教科書を選び、内容に沿ったレクチャーを受け、問題を解いて理解を深めていけるのが特徴だ。2013年、文部科学省などが後援する「日本e-ラーニング大賞」を受賞した。

タオが小、中学生向けを無償で提供した。9日に天神を使

「天神」ソフト開発会社提供